

教科 国語

科目 現代の国語

授業科目	国語(現代の国語)	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 1 年	コース	ICT 科・普通科		
教科書	新編 現代の国語 (大修館書店)		副教材	学習課題ノート、高校生の語彙と漢字、	
授業概要	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				
授業内容および 到達目標	2 期 学	単 元	目 標		教 材
	1 学 期	ことばをひらく	「変わる」ことについて筆者の考えを読み取り、高校生活を始めるにあたっての参考にする。		<ul style="list-style-type: none"> ・「変わる」ことを楽しもう ・コミュニケーションは技術だ
		日本語を使いこなす	場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。		<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの使い分け ・正しく書こう ・文を整え、文をつなぐ
		わかりやすく説明する	相手に伝えたいことを、わかりやすく整理して話す。順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。		<ul style="list-style-type: none"> ・人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか ・絵や写真を説明しよう ・料理レシピを書こう ・ショートスピーチ
	2 学 期	論理を読み取る	具体例の働きをとらえ、具体と抽象の関係を考えながら読む。		<ul style="list-style-type: none"> ・オカピの胃袋はいくつか ・水の東西
		伝え合いのレッスン	相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを知る。さまざまな方法を用いて、アイデアを広げたり整理したりする。		<ul style="list-style-type: none"> ・対話のレッスン ・テーマを決めて話し合おう
		情報と向き合う	図との関係に注意しながら、文章を読み取る。文章とグラフとの関係に注意しながら、文章を読み取る。テーマを決め、適切な方法で情報を集め読み手を納得させる文章を作成する。		<ul style="list-style-type: none"> ・情報の力関係 ・どこもかしこもプラスチック！ ・レポートを書こう
	3 学 期	他者を動かす	対象者を明確にし、対象者を説得することができる企画書を書く。聞き手の心を動かし、目的を達成するために、構成や発表のしかたを工夫する		<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な企画書を書こう ・プレゼンテーションをしよう
		社会に目を向けて	筆者の問題意識と主張を、具体例に気をつけながら読み取る。		<ul style="list-style-type: none"> ・何のために「働く」のか

教科 国語

科目 言語文化

授業科目	国語(言語文化)	単位数	2単位	履修形態	必修	
履修学年	高校1年	コース	ICT科・普通科			
教科書	新編 言語文化(大修館書店)		副教材	学習課題ノート、高校生の語彙と漢字、古典文法用言活用シート		
授業概要	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					
授業内容および到達目標	2 期 学	単元	目 標		教 材	
		一 学 期	ことばと出会う(現)	言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。		・言葉の森を育てよう ・季節の言葉と出会う
			表現を味わう(現)	文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。		・水かまきり ・とんかつ ・一瞬の風に慣れ ・鏡
			文化を見つめる(現)	日本のデザインに見られる独特の感性について、筆者の主張を読み取る。		・ほどほどのデザイン
	物語を受け継ぐ(現)		小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。		・羅生門	
	3 期 学	二 学 期	ことばと生きる(現)	叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。		・祖母が笑うということ ・コルベ神父
			日本語を考える(現)	漢字の特色および、過日本語における漢字の働きを知るとともに、漢字を身につける大切さを理解する。(漢字検定で目標の級に合格できるよう、模擬問題に取り組む)		・漢字の性格 ・漢字検定
			古文に親しむ(古)	古文を読む意義を理解し、古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。また、音読を繰り返すことで古文に慣れ、古文と現代文の違いを理解し、基礎を身につける。		・古典の魅力 ・児のそら寝 ・いろは歌
			随筆の楽しみ(古)	随筆の文章表現の特色について理解する。また、両作品を通して自然や人間に対する作者の見方、感じ方、考え方を理解する。		・枕草子 ・徒然草 ・伊勢物語
	三 学 期	漢文に親しむ(漢)	漢文の訓読のきまりについて理解する。		・訓読のきまり/再読文字 ・格言	
			現代に生きることば(漢)	「株を守る」という言葉の意味について、考えを深める。		・守株・蛇足

令和5年度 ICT科普通科高校1年 地理総合シラバス

教科 社会

教材: 帝国書院「高校生の地理総合」 準拠ノート

科目 地理総合

学期	項目(タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
1 学期	1章 地図や地理情報システムと現代世界	<p>1章の目標</p> <p>①地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につける。</p> <p>②各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>	<p>①地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。</p> <p>②各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>
2 学期	2章 地球的課題と国際協力	<p>2章の目標</p> <p>①地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを理解する。 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。</p> <p>②地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>	<p>①地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを理解している。 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。</p> <p>②地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>
3 学期	3章 生活圏の調査と地域の展望	<p>2章の目標</p> <p>①生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解する。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につける。</p> <p>②事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>	<p>①生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。</p> <p>②事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>

教科…数学、科目…数学 I

授業科目	数学 I	単位数	3 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	1 年 ICT 科	コース			
教科書	数学 I Advanced (東京書籍)	副教材	練習ドリル数 I (数研出版)		
授業概要	<p>数学 I では、中学校数学で扱った内容を発展させたものとして、① 数と式、② 集合と論証、③ 二次関数、④ 図形と計量、⑤ データの分析の 5 分野を扱います。</p> <p>高等学校数学における基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な見方や考え方といった数学的素養を身に着けるようにします。</p>				
授業内容	単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	一 学 期	数と式	(1) 式の展開や因数分解の公式の理解を深める (2) 数を分類・整理し、数の体系を身に着ける (3) 根号を含む四則演算ができるようにする (4) 不等式の解の意味と性質を理解する		練習ドリル
		集合と論証	(1) 集合の表し方と要素について理解する (2) 部分集合、共通部分と和集合を理解する (3) 補集合とド・モルガンの法則を理解する (4) 命題と論証について理解する		
		2 次関数	(1) 2 次関数の式とグラフの形の関係を理解する (2) 2 次関数のグラフと 2 次方程式の関係を理解する (3) 2 次不等式の意味を考え、解けるようにする		
	二 学 期	図形と計量	(1) 正弦、余弦及び正接を直角三角形の辺の比と角の大きさとの間の関係として理解する (2) $0^\circ \sim 180^\circ$ の場合までの三角比の値を求められる (3) 三角比についての相互の関係を理解する (4) 正弦定理、余弦定理を利用し、三角形の未知の辺や角の大きさを求められる (5) 三角比を利用して三角形の面積を求められる		
			(1) データの整理と相対度数による計算ができる (2) 平均値・中央値・最頻値の意味を理解する (3) 四分位数、箱ひげ図とヒストグラムの対応ができる (4) データ分析の基本を理解する (5) 相関関係が調べられる		
	三 学 期	データの分析			

教 科 理 科 科 目 科学と人間生活

授業科目	科学と人間生活	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	1 年	コース	ICT 科		
教科書	実教出版 科学と人間生活	副教材	実教出版 科学と人間生活サポートノート		
授業概要	科学と人間生活で学習する内容が、身の回りでどのようなことに利用されているのか探求します。また、実験や ICT 教材を活用して、実感できる授業にします。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	第 2 章 生命の科学	遺伝子の本体である DNA について理解する。微生物は私たちの暮らしの中でどのような影響を及ぼしているのかを理解する。	顕微鏡	
	2 学 期	第 1 章 物質の科学	三大栄養素の性質や構造を実験を通して理解する。身の回りの金属の性質や用途、製錬の方法について理解する。	グルコース 豆腐 バター	
		第 3 章 光や熱の科学	光の性質を理解し、日常生活における光や電磁波の利用について理解する。	鏡	
3 学 期	第 4 章 地球や宇宙の科学	天体のそれぞれの特徴を調べ、それぞれの歴史を学ぶ。	天球		

教科 保健体育

科目 体育

授業科目	体育	単位数	2単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校1年	コース	ICT科		
教科書	なし	副教材	アクティブスポーツ 大修館書店		
授業概要	運動を通して、集団の中で他人への思いやりの心を養うことと、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力の向上を図り、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	体育理論	スポーツの歴史について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間 の状態に気づくことが出来るようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
		水泳	水の特性を理解し、自由形・平泳ぎ・背泳ぎの3 泳法をマスターする。		
		バスケットボール	ネット型の特性を理解し、ドリブル、シュート、 パスの正しい技術を身につける。		
	2 学 期	ダンス	表現したい内容が伝わるような動きを工夫したり、 呼吸を合わせたり、めりはりをつけて踊ることが できるようにする。		
		器械運動	柔軟性を高めていくことを目指す。接転系の技を 正しい姿勢でできるようにする。		
		体育理論	スポーツの歴史について理解できるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
	3 学 期	サッカー	ルールを理解し、パスやドリブルの正確な技術を 身につける。		
		武道	武道の特性を理解させ、姿勢や組み方を中心に、 安全を考えて練習する。		

教科 外国語

科目 英語コミュニケーションⅠ

授業科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校1年 ICT科	コース			
教科書	Power On	副教材	ワークブック	Focus on Listening	
授業概要	英文を読み、内容を理解し、表現することができる。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	中学校の復習	簡単な英文を読み、内容を理解する。	ワークブック Focus on Listening	
		L1 Japan's New Tourism	簡単な英単語を書くことができる。		
		L2 Light from Creatures	簡単な英文を表現することができる。		
2 学 期	L3 Routes to the Top			ワークブック Focus on Listening	
	L4 Left to Right, Right	英文を読み、内容を理解することができる。			
	L5 Banana Paper	内容を理解した上で、正しく解答することができる。			
	L6 Patterns in Human Behavior	英単語を日本語に、日本語を英単語にすることができる。			
3 学 期	L7 No Plastic or No Future	日本語を見て、英文を表現することができる。		ワークブック Focus on Listening	
	L8 Oh My Cod!	長い英文を読み、内容を理解することができる。			
	L9 Is E-sports a Real Sport	内容を理解した上で、正しく解答することができる。			
	L10 Being Different Is Beautiful	英単語を日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。			

教 科 商 業

科 目 ビジネス基礎

授業科目	ビジネス基礎	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 1 年	コース	1 年		
教科書	ビジネス基礎 (実教出版)	副教材	ビジネスマナー@カレッジ (英光社)		
授業概要	高校で学ぶ商業科目の基礎となる科目として、ビジネスの役割を理解し、ビジネスに対する心構えを習得する。また、売買取引についての基礎を理解し、さまざまな代金決済方法を習得する。コンピュータを利用したビジネス情報活用、コミュニケーション能力を身につける。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標	教 材		
	1 学期	売買取引と代金決済	小切手・手形等の仕組みなどの基礎的な知識の習得。 売買に関する計算。	教科書	
		流通活動と企業	株式会社や本支店、親会社子会社などの知識の習得。 株式や有価証券・社債等。	教科書	
	2 学期	企業活動の基礎	企業の資金調達・税・雇用などの基礎を学ぶ。 ビジネスと売買取引について学ぶ。	教科書	
	3 学期	売買に関する計算と ビジネスとコミュニケーション	売買に関する計算方法を習得。 ビジネスマナーを習得。 ビジネスにおける情報の活用を理解。	教科書	副教材

教 科 商 業 科 目 簿 記

授業科目	簿記	単位数	4 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校 1 年	コース	ICT 科		
教科書	商業簿記テキスト（立志舎）	副教材	商業簿記問題集（立志舎） 各簿記検定問題集（立志舎）		
授業概要	簿記の目的とルールを理解し、個人商店における簿記の仕組みについて学習する。 株式会社会計についての会計処理を学習する。 本支店会計や連結会計等に取り組み、理解する。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	簿記の基礎	簿記の目的とルールを理解する。個人商店における経営活動と取引内容（仕訳）の理解を目指す。	テキスト 問題集	
		取引と仕訳	現金預金・商品売買・手形・有価証券・債権債務・固定資産・資本金・収益・費用の仕訳の正確な会計処理を目指す。		
	2 学 期	損益計算書 貸借対照表 帳簿組織	取引から決算処理、財務諸表作成までの手順の理解を目指す。主要簿・補助簿・財務諸表を正確に作成する。	テキスト 問題集	
		株式会社会計	株式会社の創立から純利益の計上、株主総会での利益処分までの処理方法を理解する。	テキスト 問題集 過去問題	
		連結会計 その他取引	連結会計における目的や、消去振替仕訳、未実現損益の消去仕訳等会計処理を理解する。 銀行勘定調整表・株主資本等変動計算書・リース取引・外貨換算会計・などの会計処理について理解する。		
	3 学 期	本支店会計	本支店間の取引・合併財務諸表の作成をする。	問題集 過去問題	
税効果会計		法人税等の利益に対して課される税金の期間配分の意味と会計処理について理解する。			
製造業会計		製造業を営む会社の決算処理を理解し、正確な財務諸表を作成する			

教 科 商 業

科 目 原価計算

授業科目	原価計算	単位数	4 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校 1 年	コース	ICT 科		
教科書	簿記テキスト (立志舎) 工業簿記テキスト (立志舎)	副教材	簿記問題集 (立志舎) 各検定問題集 (立志舎)		
授業概要	製造業を営む工企業の簿記であることを理解し、商業簿記との違いを確認する。多くの原価計算制度についてその特性を学び、製造原価・月末仕掛品の把握をする。さらに原価管理に有効な標準原価計算や短期利益計画に適した直接原価計算について学ぶ。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学期	工業簿記の基礎	商業簿記と工業簿記の違いを理解する。原価の概念と分類を把握し、勘定の流れ、製品販売から月次決算、年次決算までの流れを理解する。		テキスト 問題集	
	費目別計算 個別原価計算 直接原価計算	材料費・労務費・経費勘定の種類や直接費・間接費の分類・仕掛品・製造間接費勘定の会計処理について理解する。 製造指図別の製造原価を算定する。 短期利益計画に有効な原価計算であることを理解し、損益計算書の作成方法を学ぶ。		テキスト 問題集	
	2 学期	標準原価計算 総合原価計算	原価管理を有効に行う原価計算であることを理解し、勘定記入方法について学ぶ。 単純・組別・工程別・等級別総合原価計算の製造原価・月末仕掛品原価の算定をする。		問題集 模擬問題 過去問題
3 学期	原価予測 本社工場会計	企業経営における必要性を理解し、高低点法について学ぶ。 本社と工場それぞれの記帳範囲から本社勘定・工場勘定の仕分まで理解する。		問題集 過去問題	

教 科 商 業 科 目 情 報 処 理

授業科目	情報処理		単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校1年		コース	全コース		
教科書	情報処理（実教出版）		副教材	表計算問題集 （日本情報処理検定協会） 日本語ワープロ問題集 （日本情報処理検定協会） 電子会計テキスト（実教出版）		
授業概要	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	企業活動と情報 処理	情報処理の重要性、情報モラルについて学ぶ。 ワープロの速度やビジネス文書に関する知識 についての学習をする。		情報処理教 科書	
		コンピュータシ ステムと情報デ ザイン	ネットワーク接続、イントラネットの基礎的 な設定方法等を学習する。「Excel」の関数を学 び、表計算ソフトの知識を習得する。		情報処理教 科書	
	2 学 期	情報の集計と分 析	表計算ソフトを使用し、データの集計と分析 の知識を学ぶ。		表計算問題 集	
		ビジネス文書の 作成	「Word」を使用して文書作成の技術を学び、 幅広い文書を作れるようにする。		日本語ワー プロ問題集	
	3 学 期	プレゼンテーシ ョン	プレゼンテーションを行う際の話の構成、話 し方、画像と音声の活用などプレゼンテーシ ョンソフトウェアを活用する。		情報処理教 科書	
		電子会計	勘定奉行を利用しての会計処理を理解し、仕 訳から財務諸表の作成までの流れを学ぶ。		電子会計テ キスト	